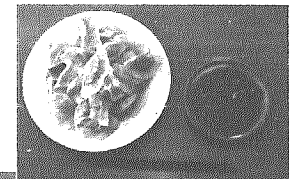


手作り水ぎょうざで国際交流
中国人留学生たちとおいしい交流会

2月23日、よこし国際交流協会の主催により、農村環境改善センターで「中国人留学生との交流会」が開催され、10名の留学生・研修生たちを含む約35名が参加。中国の方々と交流しようと毎年開催されているこの催しは、今回で5回目を数えました。

参加者たちは、材料の分量、小麦粉のこね方、皮ののばし方などを留学生たちから教わりながらぎょうざ作りに挑戦。中には、こねた小麦粉のかたまりの固さを指で確認したり、留学生たちが作った皮と比べながら、麺棒で懸命に皮をのばす参加者の姿も見られました。

ゆで上がったもちもちした水ぎょうざを、ニンニクやしょう油・酢などを混ぜた特性ダレで食べたほか、中国語のあいさつや数え方を練習しました。また、留学生たちは、前日に町内の5軒の家でホームステイをして、日本の家庭を体験するなど、楽しい時間を過ごしました。



「もちもちした質感であつあつの手作り水ぎょうざと特性ダレ



町内産の安全でおいしい食材大集合
「よこしの味を楽しむ集い」で舌鼓

3月1日、「よこしの味を楽しむ集い」が中央公民館で開催され、町内外から約70名が参加しました。

この催しは、町内産の食材の良さを多くの人たちに知ってもらおうと、阿賀の里づくり・よこごとしJA亀田郷みなみ女性部の主催により毎年開催されているもので、今回で8回目。テーブルには、何日も前から仕込んでいた納豆やソーセージ、具がたっぷりのよこごとし鍋、長いもグラタン、コシがある打ちたてのそば、白菜のキムチ漬、牛乳パバロアなど、町内の食材にこだわった12品が並び、参加者たちは「おいしい、おいしい」と舌鼓を打っていました。

また、そば作りの実演、横越町に関するクイズ、生産者たちから料理の紹介や地元野菜の特徴などについて説明があったほか、落語家水都家艶笑さんから新潟の方言や料理に関する話、南京玉すだれの華麗な演技が披露され、おいしく楽しい大好評の集いでした。



地域のお茶の間は、毎月開催されています。4月は28日(第4月曜日)、5月は19日(第3月曜日)です。



「地域のお茶の間」の参加者たち
小学生に手作りお手玉をプレゼント

3月3日、「地域のお茶の間」の参加者やスタッフ7名が小学校を訪れ、小学生たちに350個ほどのお手玉をプレゼントしました。

「地域のお茶の間」では、校長先生や教頭先生から子どもたちの話を聞いたり、小学生から「病気になるので下さい、元気でいてください」などのメッセージを書いた手作りペンダントをプレゼントされるなど、参加者たちから大変喜ばれてきました。今回は、今までのお礼と、昔の遊びに親しんでもらいたいとの気持ちから、参加者や地域の方々が協力して、様々な模様の布の中にあずきを入れたお手玉を、一つひとついねいに作りました。高齢者たちのお手玉の妙技に、子どもたちは「わあ、すご〜い!」と歓声をあげて拍手で喜んでいました。

校長先生は、「おじいちゃんやおばあちゃんにもっと学校に来てもらい、皆さんの教育力を学校に活かしていきたい」と話していました。



祝 成人おめでとう



3月21日、サンウイング横越を会場に成人式が開催され、今年の対象者168名のうち、色とりどりの着物やスーツで着飾った新成人105名が出席しました。式では、町長から「成人を迎えた皆さんには、貴重な権利と義務が付与されました。21世紀の社会は皆さんにかかっています。一

168名が新たな門出
責任と希望を胸に成人式

層の努力とますますの活躍を望みます」と激励の言葉がありました。成人者を代表して山崎梢さんは「両親や友人などの温かいご支援により成人を迎えることができました。成人として責務を果たすとともに、しっかりと自覚を持って行動していきたい」と、また、松原大さんは「両親をはじめ周囲の温かいご支援のもとで生活してきました。皆さんや仲間を大切に、仕事をがんばりながら楽しい人生を歩んでいきたい」と成人を迎えるの抱負を披露。

中学3年生時の7名の先生も出席しました。代表して当時の学年主任だった藤山敏孝先生から「中学時代は楽しい思い出や心配なこともありましたが、中学卒業後5年間ですっかりこんなに立派になりました。これからもしっかりと考えて人生を送って下さい。成人おめでとうございます」と期待を寄せるあいさつがあったほか、来賓の方々から祝いの言葉が贈られました。式の前後では、懐かしい先生や友だちと再会を喜んだり、笑顔で一緒に写真を撮る姿があちこちで見られました。

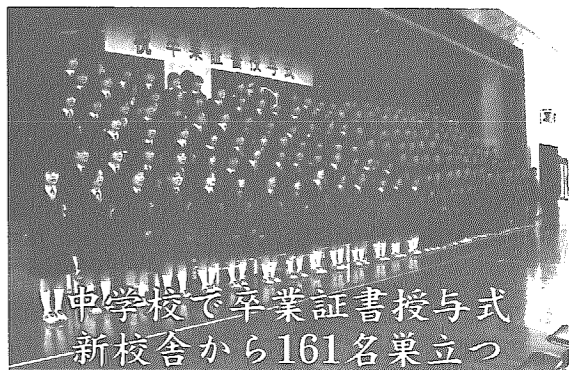
小学生が空き缶回収で車椅子寄贈

2月27日、横越小学校6年生の代表8名と先生2名が、特別養護老人ホーム「横雲の里」を訪れ、車椅子1台を寄贈しました。施設を代表して入所者から、「ありがとうございます。大変でした。新しい車椅子に乗り換えることができました。皆さんの車椅子なので、大事に使わせてもらいます」と感想とお礼が述べられました。

入所している皆さんからは、児童たちに、3月のカレンダーがプレゼントされました。このカレンダーには、折り紙で作ったおひな様が貼ってあり、お年寄りの方々の心のこもったお礼に、児童たちは大変感激した様子でした。今回寄贈した車椅子は、6年生の総合学習の中で、人のためになることをしたいと話し合い、昨年9月から今年の2月まで、保護者や地域の方々から協力してもらいながら、全校で空き缶を集め、6年生は回収された空き缶を洗い、つぶしてまとも、リサイクル業者へ渡しました。こうして得ら

れたお金で、車椅子を購入したほか、小学校に飾ってある花の鉢も購入しました。

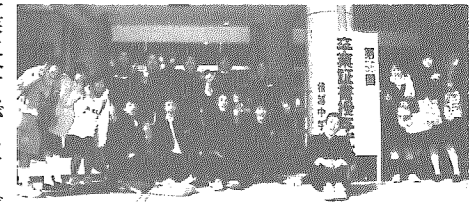
3月12日、横越中学校で卒業証書授与式が行われました。今年



中学校で卒業証書授与式
新校舎から161名巣立つ

年の卒業生は、男子81名、女子80名の計161名。榎校長先生から卒業生ひとりひとりに卒業証書が手渡された後、校長先生は「校舎が改築され、新しい教室で学習でき、思いの多い年だったと思います。卒業は新たな出発点との認識で、常に学習に努め、誇りと自信を持ってがんばってください」とはなむけの言葉を贈りました。在校生代表は「学校生活の中で先輩たちから色々助けられ、心を打たれました。これからも活躍を願っています」と卒業生との別れを惜しみ、卒業生を代表して横江夏美さんは「皆さんのことを学び、体験した3年間でした。家族や先生な

ど皆さんのおかげで卒業できました。ありがとうございました。皆さんの声を震わせながら感謝の気持ちを述べました。最後に卒業生全員がステージに立ち、力強く「ハレルヤ」を大合唱。その後、皆さんの拍手の中で161名が希望を胸に中学校を巣立っていきました。



新校舎の玄関前で記念撮影